

## 受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

<b>平成26年度 経済産業大臣賞</b> 「事業所・地方公共団体等」分野 <b>受賞</b>	受賞者名 <b>フジ化成工業株式会社</b>
	所在地 <b>鳥取県米子市</b>
	受賞テーマ <b>磁気テープ端材、自動車用ゴム部品端材のリサイクル及び工場から発生する廃棄物の削減</b>

1. 活動継続 あり

磁気テープを再利用したボード状製品と自動車の製造過程で発生するゴム端材を再利用した防音床マット「おとなしくん」と磁気テープパネルは、鳥取県認定グリーン商品を今年 4 月に更新し、継続して認定されている。また両製品について、製造過程で発生する端材は粉碎処理後、継続して再利用している。（写真 1、2）

写真1 おとなしくんの打抜き加工時の端材

写真2 磁気テープパネルの端材ライン

2. 活動の広がり あり

別品目のゴムマットにおいて、自動車メーカーの一部の車種で補助タイヤ下に設置される緩衝材として採用され、この製品は、来期は今期の 1.2 倍の需要が見込まれている。また、従来のスライサーを更新し、製品の厚み等の精度向上に努めている。（写真 3、4）

写真3 従来のスライサー

写真4 スライサーの更新

3. 活動の進化 あり

弊社の 3R 受賞を含めたリサイクルの取り組みに注目されたテレビ局から取材を受け、テレビ番組で放送をされた。このテレビ放送もあって、「合板の切断屑をリサイクルできないか?」、「ゴム端材をリサイクルできないか?」等、各社様よりリサイクルに関する問い合わせが増加した。

4. 今後の計画

既存商品の販売拡販は本より、新たなリサイクル商品の開発を目指し、3R が更に普及・促進していくように貢献していきたい。

## 【表彰概要】

同社リサイクル事業部では、磁気テープ製造メーカーで発生する端材を原料として購入し、「EM パネル」という新たな用途の製品としてリサイクルを行っている。

磁気テープは、官公庁機関・銀行・保険会社等のデータバックアップ用記憶用媒体として現在でも国内生産されている。製品は一般的にロール状となっており、端の部分は製品加工工程で切断される。この部分は、同製品に再原料として使用することができないため、廃棄物として処分されていた。

同社では、この端材を廃棄物から新たな製品原料として再利用できるよう研究開発を行い、ボード状に成形し、建築資材として製品化することに成功した。主に、薄畳（バリアフリー畳）の芯材や鉄筋コンクリート造に用いられる耐震スリットの芯材として使用されている。

また、製造過程で発生する端材や不良品（欠け・寸法不足等）も、同製品に原料として再利用できる生産システムを取っており、それを加味した性能を JIS に準拠した試験方法で評価・規格化し、管理を実施している

同様に、自動車用ゴム部品製造メーカーで発生する端材を原料として、防音床マット「おとなしくん」としてリサイクルを行っている。この類には、大手家電・建材メーカーの OEM 品としての防音ゴムマットや自動車用防音・防振材も含まれている。EM パネル同様、製造過程で発生するゴムスキン面、打ち抜き屑、不良品（欠け・寸法不足等）も原料として再利用できる生産システムにて管理している。

EM パネルを利用したエコ畳と防音床マットおとなしくんは、リサイクル製品として評価され、鳥取県認定グリーン商品として認定を受けるとともに、独自の製造方法として特許も取得している。

また、現状は廃棄物として廃棄されている磁気テープ・ゴム製品についても、弊社製品の原料として利用できないか、製品の安全性と性能を確認しながら模索している。

断熱材事業部においては、炭酸カルシウム系発泡板「ロックセルボード」の生産を行っている。製品の寸法規格は、3×6 尺板を基本としており、それ以上ある荒原板から製品を切り出すため、端材が発生する。この端材は、粉碎後に再度原料として使用している他、端材を接着剤で接着して作製したエクステリアや軽量モルタルの骨材としても使用されている。

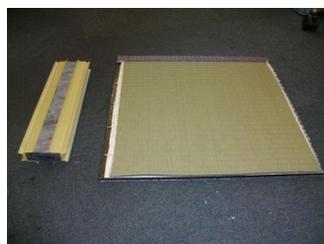
また、製品を生産する際に使用する溶剤を、発泡工程時に約 50%回収し、再利用することで資源の削減に努めている。更には、「E-ソイルボード」や「排水マット」等の新規グリーン製品を他企業と共同で開発するなど、色々な取り組みを通して循環型社会構築に貢献している。



原料  
(磁気テープ端材)



原料  
(自動車用ゴム部品端材)



用途：耐震スリット、  
エコ畳等



用途：防音床マット、  
車用制振材、  
防音材等